

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

観光交流地域づくり（松川町版DMO）による地方創生推進事業

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県下伊那郡松川町

3 地域再生計画の区域

長野県下伊那郡松川町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

松川町の人口は、2040（平成52）年に13,167人[年少1,676人／生産年齢7,258人／老年4,218人]（2015国勢調査）から9,963人[年少966人／生産年齢4,900人／老年4,097人]（社人研推計）へと約▲3,700人[年少▲710人（▲42.4%）／生産年齢▲2,358人（▲32.5%）／老年▲121人（▲2.9%）]も減少すると予測され若年生産年齢人口の減少が地域の大きな課題である。特に基幹産業である農業では、市場出荷型経営の稼ぐ力が弱体化し、後継者及び経営耕地面積が大きく減少しており、「観光」を活用した付加価値の高い農業経営への転換が求められている。「くだものの里松川」として中京圏での認知度は高いものの、観光客層の高齢化により再訪問率は減少しており、果物やアルプスの景観に加え、未開拓の地域資源をブランド化し、新しい観光交流市場（若者、インバウンド等）とのマッチングが求められている。

4-2 地方創生として目指す将来像

松川町は、2つのアルプスに囲まれた果物栽培 102年の歴史を誇る果樹の一大産地であり、くだもの観光を中心とする農業を基幹産業とする農商工均衡のとれた町である。一方で首都圏や都市部への人口流出による人口減少と地域経済縮小の課題を抱えており、観光交流を手段とした地域づくりが求められている。松川町にしかない松川町らしさである地域資源[農（年を通じたくだものの里やその暮らし）、自然（2つのアルプスや扇状地段丘などの景観）、人（地域に住む人や暮らしとその人柄）]をブランド化し、滞在型観光へつなげることで、観光人口・観光消費額の増や地域経済の活性化を図り、地域の誇りや価値を再認

識により定住人口の増につなげ、持続可能な地域経営の実現を目指します。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	KPI増加分 の累計
観光地点等入込 客数(松川高原・ くだもの狩り)(人)	283,223	300	5,000	10,000	15,300
中央自動車道松 川インターチェ ンジ乗降台数(台)	1,815,877	1,800	1,800	1,800	5,400
農村観光交流セ ンターみらい利 用者数(人)	9,238	100	500	1,000	1,600
観光消費額(松川 高原・くだもの狩 り)(千円)	524,171	500	10,000	20,000	30,500

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

松川町版 DMO(仮称:南信州まつかわ観光局)を平成30年3月に設置し、地域自らが価値を生み出し、滞在交流型観光による交流人口の拡大を目指すとともに住んでよし訪れてよしの地域づくりによる、定住人口増を目指します。この DMO の本格運営に向け、調査分析戦略の策定、地域ブランドコンセプトの確立、地域資源を活かした滞在交流プログラムの開発、広報宣伝等の一元化、観光案内所(ツアーデスク)整備、既存施設を活用した自主事業の開発等に着手します。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金(内閣府):【A3007】

① 事業主体

長野県下伊那郡松川町

② 事業の名称：

観光交流地域づくり（松川町版 DMO／仮称：南信州まつかわ観光局）による地方創生推進事業

③ 事業の内容

観光を手段として地域づくりを推進するため松川町版 DMO（仮称：南信州まつかわ観光局）を平成 30 年 3 月設置し、地域自らが価値を生み出し、「ブランディング」「マーケティング」「プロモーション」を行い、滞在交流型観光による交流人口の拡大を目指し、住んでよし訪れてよしの地域づくりによる、定住人口増を目指す。松川町版 DMO は地域のあらゆる分野の人材に参画により、地域が一体となった観光交流地域づくりのプラットフォームと位置付ける。この DMO の本格運営に向け、調査分析戦略の策定、地域ブランドコンセプトの確立、地域資源を活かした滞在交流プログラムの開発、広報宣伝等の一元化、観光案内所（ツアーデスク）整備、既存施設を活用した自主事業の開発等に着手する。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

松川町版DMOIは、関係団体からの出資金、会員からの会費、事業受託収入、町からの業務委託のほか、農家民泊や滞在型交流プログラム等のツアー（平成30年度旅行業登録予定）による収益事業を実施する。必要となる職務経験を持つ専任職員を採用し、民間手法による事業展開・販路拡大により、行政からの支援に頼らない運営を目指す。

【官民協働】

松川町版DMOIは、観光交流地域づくりのプラットフォームを目指し、専門性職員体制により民間経営手法（マーケティング、ブランディング、プロモーション）を展開する。官民で地域が稼ぐことを目指す。

【政策間連携】

「農業」「商業」「自然文化や社会教育」等と連携した観光交流事業を展開することで、観光を手段とした地域経済の活性化を目指す。

【地域間連携】

松川町版DMOは、松川町での活動を軸とするが、飯田下伊那の北端、上伊那の南端の玄関口に位置しており、広域連携の窓口として大きな役割を果たしたい。松川町だけでなく近隣市町村の観光素材を結び付けた滞在型旅行商品を企画開発し、連携協力体制を構築したい。

【その他の先導性】

特になし

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	KPI増加分 の累計
観光地点等入込客数(松川高原・くだもの狩り) (人)	283,223	300	5,000	10,000	15,300
中央自動車道松川インターチェンジ乗降台数(台)	1,815,877	1,800	1,800	1,800	5,400
農村観光交流センターみらい利用者数(人)	9,238	100	500	1,000	1,600
観光消費額(松川高原・くだもの狩り)(千円)	524,171	500	10,000	20,000	30,500

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

松川町総合戦略推進会議により検証、評価

【外部組織の参画者】

【産：松川町商工会（会長）、マーくんカード事業協同組合】 【官：

松川町農業委員会、松川町教育委員会、松川町議会議員】 【学：松

川町中央公民館】【金：JAみなみ信州】【労：松川町社会福祉協議会、松川町女性団体連絡協議会、福祉を考える会】【言：(株)チャンネル・ユー】【その他：松川町交通安全協会、下伊那赤十字病院、区長会、松川町保護者会連合会、松川町消費者の会、健康を考える会、松川町PTA3校連絡協議会、松川町消防団、民生児童委員

【検証結果の公表の方法】

検証後、松川町公式ホームページで公表

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】
総事業費 99,620千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 松川町地域おこし協力隊事業

事業概要：地域おこし協力隊制度（総務省）を活用し、観光交流地域づくりの中核として松川町版 DMO の職員の候補となる人材を採用し、育成する。経営、企画、営業、2言語等について、民間での経験や実績を有する人材を募集・採用し、観光交流地域づくり（松川町版 DMO／仮称：南信州まつかわ観光局）による地方創生推進事業に従事する。

実施主体：長野県下伊那郡松川町

事業期間：平成28年度～平成32年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

【検証方法】

松川町総合戦略推進会議により検証、評価

【外部組織の参画者】

【産：松川町商工会（会長）、マーくんカード事業協同組合】【官：松川町農業委員会、松川町教育委員会、松川町議会議員】【学：松川町中央公民館】【金：JA みなみ信州】【労：松川町社会福祉協議会、松川町女性団体連絡協議会、福祉を考える会】【言：(株)チャンネル・ユー】【その他：松川町交通安全協会、下伊那赤十字病院、区長会、松川町保護者会連合会、松川町消費者の会、健康を考える会、松川町PTA3校連絡協議会、松川町消防団、民生児童委員

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	KPI増加分 の累計
観光地点等入込客数(松川高原・くだもの狩り)(人)	283,223	300	5,000	10,000	15,300
中央自動車道松川インターチェンジ乗降台数(台)	1,815,877	1,800	1,800	1,800	5,400
農村観光交流センターみらい利用者数(人)	9,238	100	500	1,000	1,600
観光消費額(松川高原・くだもの狩り)(千円)	524,171	500	10,000	20,000	30,500

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法
検証後、松川町公式ホームページで公表